

事業計画書(その1)

①団体の目的 *定款, 規約, 会則等に定めている目的を, そのまま転記してください。

この消費生活協同組合(以下「組合」という。)は, 協同互助の精神に基づき, 組合員の生活の文化的経済的改善向上を図ることを目的とする。

②事業の分野

- 保健, 医療又は福祉の増進 社会教育の推進 まちづくりの推進
観光の振興 農山漁村又は中山間地域の振興 学術, 文化, 芸術又はスポーツの振興
環境の保全 災害救援 地域安全 人権の擁護又は平和の推進 国際協力
男女共同参画社会の形成の促進 子どもの健全育成 情報化社会の発展
科学技術及び学術の推進 経済活動の活性化 職業能力の開発及び雇用機会の創出
消費者保護 団体の運営又は活動に関する連絡, 助言又は援助

③事業の概要 *事業の全体像を簡潔に記入してください。

介認知症予防に興味のある, おおむね65歳以上の男女を対象に, 週に1回程の頻度で, 認知症予防を目的に交流サロンを開く。サロンでは, 参加者に小学校3年生~6年生程度の学習課題に取り組んでもらうことで, 「脳力」の活性化につなげる。また, サロンには高齢者だけでなく, 近隣の小学生にも参加してもらい, 高齢者と一緒に学習課題に取り組んでもらう。このように, 高齢者と子どもたちが一緒に学びあい, 交流することで, 事業の目的である介護予防の効果のさらなる向上を期待する。

併せて, 地域の公共施設を会場に, 小規模な認知症講座を随時開催し, 予防の取り組みの推進を図るとともに, 前述のサロンへの参加を呼び掛ける。

④社会的背景と解決しなければならない課題

*提案するに至った社会的背景や市民ニーズ等は何ですか。また解決しなければならない課題は何ですか。

高齢化が進む中, 認知症高齢者の数も増加しており, 団塊の世代が後期高齢者となる2025年には380万人を超すと言われていています(ちなみに, 現在の岡山県の人口が193万人ほどです)。おりしも, 平成27年度には介護保険制度の見直しが行われますが, 財源の問題もあり, 公的サービスの拡充ではなく, 地域包括ケアの考えの下, 地域の資源を活用して, 共助による支えあいを広げていくことが示されています。

こうした社会情勢を受けて, 気軽に参加できる認知症予防活動を地域に広げていくことが求められており, そうした社会的ニーズに対応したいと思います。

⑤受益者の範囲 *提案する事業の対象範囲を具体的に記入してください。

倉敷市在住で, 認知症への予防に興味のある原則65歳以上の方

⑥事業の成果 *④の課題に対して, 事業を実施することで得られる成果とは何ですか。

「脳力」の活用による機能維持。

他の参加者や子どもたちとの交流による社会参加の促進。

これらの成果による認知症発症リスクの軽減

⑦事業の目標

*⑥の成果を測る目安です。想定する結果より少し高いレベルで設定してください。また、目標の進捗状況を市の指定するブログに定期的に投稿していただきます。できるだけ数値やパーセントを用いてください。

・事業実施期間中の「学老クラブ」への高齢者の延べ参加者について、400名を目標とします。

・また、児島地区の憩いの家で行う「認知症予防講座」については、事業実施期間中の延べ参加者数を80名程度を目標とします。

事業計画書(その2)

⑧事業の詳細

*実施時期, 場所, 対象者, 内容, 特徴や重点事項など, できるだけ内容を明確にしてください。

今回提案の事業は、認知症予防を目的とした定期的な交流サロン活動（学老クラブ）と、介護予防講座の実施との2つの事業一体的に行い、事業の目標である「認知症予防」の効果をより高めようとするものです。

○交流サロン活動（学老クラブ事業）

<会場>

当組合倉敷児島地域センター

<開催日・開催時間>

- ・毎週土曜日
- ・1回1時間半程度

<対象>

- ・倉敷市在住で、認知症への予防に興味のある原則65歳以上の方
- ・倉敷市在住の小学生

<実施内容>

- ①サロン内で、参加者に小学校の課題レベルの学習に取り組んでもらいます
- ②取り組んでいただく課題は、参加者の能力に応じて作成します。
- ③課題はすぐに採点して、自分の能力や学習成果が確認できるようにします
- ④作業後は、参加者に食事やお茶を提供し、交流食事会や茶話会を実施して、高齢者と子どもたちとの交流を深めます。
- ⑤学習だけでなく、昔遊びやレクリエーション、伝統文化の継承などを通じて、高齢者と子どもたちとの交流を促進します
- ⑥少しずつ課題のレベルを上げるなどして、参加者の学習意欲を引き出すほか、成果に応じた表彰などを行うことで、参加意欲をより高めていきます。

<備考>

- ・取り組みを通じて、高齢者の認知症予防、高齢者と子どもたちとの多世代交流、子どもたちの学力向上などの効果が期待できます。
- ・倉敷市の認知症サポーター養成講座の修了生にもボランティアとして運営に協力してもらい、修了生の活動の場としての機能も持たせるようにします。

○認知症予防講習会

<会場>

- ・児島地域の公民館、憩いの家等公共施設

<開催日・開催時間>

- ・平成27年6月～平成28年3月の期間中、おおむね1か月に1回程度実施。1回あたりの開催時間は1時間～1時間30分程度

<実施内容>

認知症の予防に効果がある取り組みの紹介、認知症になった場合への事前の備えに関する講座の実施

<参加対象>

認知症の予防への興味がある方ならどなたでも

<備考>

- ・当団体では、水島会館を会場として、認知症サポーター講座修了生による、30分の介護予防講座を定期的の実施しており、そのノウハウを活用します。
- ・講習会には倉敷市の認知症サポーター養成講座の修了生にもボランティアとして運営に協力してもらい、修了生の活動の場としての機能も持たせるようにします。
- ・参加者に「学老クラブ」の取り組みを紹介し、学老クラブの参加者の利用促進を図ります。

⑨受益者負担 ※団体の財源確保のため、可能な限り参加費等を徴収してください。

*参加費や受講料を一般の参加者から徴収しますか。該当するものを丸で囲んでください。

徴収する ・ 徴収しない

*「徴収しない」とした場合、その理由を記入してください。

事業計画書(その3)

⑩事業の見通し *2年後, 3年後といった将来, 事業をどのように展開させていきますか。
・「学老クラブ」の取り組みを拡大させて、市内複数個所で開設を目指します。

⑪団体の能力の活用

*団体の持つ能力や特色を、課題の解決にどう活かしていきますか。

当組合は元気な高齢者が自分たちで出資し合い、自分たち自身で仕事や生きがいづくりの活動を起こしていったところからスタートしています。このため、私たちの組織では「元気な高齢者をもっと元気に！」を合言葉に、元気高齢者の創造に力を尽くしています。

⑫他団体等との協力

*他団体等と協力して事業を行う場合は、その団体名や役割を記入してください。

協力団体名：NPO 法人 ワーカーズコープ センター事業団

センター事業団は、働くもので出資し合い、地域に役立つ良い仕事を「協働」を通じて創りだしています。全国で多数の「学童保育事業」を行っている他、岡山市や倉敷市においては、生活困窮世帯の子どもたちの学習支援を通じて「貧困の連鎖」を断ち切るための取り組みを行っています。こうした活動実績を有していることから、「ワーカーズコープ センター事業団」には、主として参加者が取り組む学習課題の作成や、指導などに協力してもらいます。

⑬行政との協働 ※自主事業部門の団体は記入不要

主となる部署名（介護保険課） 主部署の同意（あり）・なし）

その他の部署名（ , ）

協働する部署との協議

10月 10日（内容： 提案内容の概要説明 ）

10月 28日（内容：提案内容が行政課題の解決に資するものかの確認）

月 日（内容： ）

協働する部署の役割

地域包括支援センター等を通じての事業の告知

認知症サポーター講座受講生への、当事業へのボランティア参加の呼びかけ

教育委員会への働きかけ（学老クラブの案内チラシを、会場近隣の小学校に配布したいので、その許可を得る橋渡しを期待します）

予算書

(収入の部)

(単位：円)

項 目	金 額	内 容
受益者負担 (参加費, 受講料など)	80,000	(@200×10人×40回)
会費からの繰入金		
そ の 他		
市補助金	303,000	
合 計	383,000	

(支出の部)

(単位：円)

区 分	項 目	金 額	内 容
経費① (対象経費)	人件費(団体会員に支払うもの, 交通費を含む)	32,000	サロン世話係人件費
	人件費(団体外部に支払うアルバイト代等)		
	謝 金 (講師等に支払うもの)	72,000	学習指導員謝金 (@900×2h×40回)
	旅費交通費 (講師等に支払うもの)	10,000	ボランティア交通費(1回一律500円×2人×10回)
	消耗品費	30,000	教材費
	印刷製本費	80,000	事業案内パンフレット印刷費(A4 4色刷り2種類)、教材コピー代
	通信運搬費		
	保険料	5,000	行事保険
	使用料, 賃借料	96,000	会場費(@2,400円/回×4回×10か月) ※水光熱費込
	委託料		
	小計 ①	325,000	
経費② (対象外経費)	報償費・人件費	18,000	補助対象外人件費
	食糧費	40,000	茶菓代(1回1,000円×40回)
	その他		
	小計 ②	58,000	
合 計	383,000		

(記入上の注意)

- ※ 団体会員に人件費及び交通費を支払う場合は、**申込み前に**事務局に相談してください。
- ※ 実施可能な経費、内容に見合う経費で計画してください。過大な経費は避けてください。
- ※ 内容欄には、単価・数量等の内訳を記入してください。(別紙添付も可)
- ※ 事業実施のために直接必要な経費だけ計上してください。団体の運営経費は対象外です。